

**大学図書館のトレンドと  
大阪教育大学附属図書館の活動**

2019.1.5(土) 第117回CIEC研究会  
テーマ:学びの空間としてのラーニングコモンズ  
早稲田大学中央図書館 1階 会議室

大阪教育大学 学術部学術情報課長  
中山貴弘

国立大学法人 大阪教育大学

**自己紹介**

- ・経歴  
~2017.3 神戸大学附属図書館に勤務  
主な仕事:  
電子図書館(貴重資料の電子化、機関リポジトリ)  
電子ジャーナル契約  
ラーニングコモンズ設置・運用
- 2017.4~ 大阪教育大学附属図書館に勤務

2 国立大学法人 大阪教育大学

**宣伝**

神戸大学附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」  
LINEスタンプ[vol.1], vol.2 各¥120  
<https://store.line.me/stickershop/author/119830/ja>

国立大学法人 大阪教育大学

**宣伝2**

石黒 康太, 中山 貴弘, 湖内 夏夫  
「LINEスタンプを活用した図書館広報」  
『大学図書館研究』, 2018, 110巻  
<https://doi.org/10.20722/icul.2017>

神戸大学附属図書館マスコットキャラクター「うりこ」のLINEスタンプの制作経緯と、その後の反響などについて。

4 国立大学法人 大阪教育大学

**アウトライン**

1. 大学図書館のトレンド
2. ラーニングコモンズ
3. アウトリー
4. まとめ:これからの大学図書館

5 国立大学法人 大阪教育大学

1.大学図書館のトレンド

6 国立大学法人 大阪教育大学

## 1.大学図書館のトレンド

## すぐわかる大学図書館のトレンド

- 90年代 電子化・情報化の進展  
 00年代 ①図書館に来なくていい（ていうか、なくていい）  
           ②予算削減と電子ジャーナル価格高騰  
 10年代 ①「出会い系」と「アウトリーチ系」 ←きょうはこのお話し  
           ②OA/OD(リポジトリ、データライブラリアン)

7  
国立大学法人 大阪教育大学

## 1.大学図書館のトレンド

## 図書館不要論に抗して

- トレンド1「出会い系」  
 「出会い系の場」としてのラーニングコモンズ設置。
- トレンド2「アウトリーチ系」  
 図書館の外へのアウトリーチ活動。

8  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2.ラーニングコモンズ

9  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2.ラーニングコモンズ

## ラーニングコモンズ設置状況

- 国内大学の65%に「アクティブ・ラーニング・スペース」が設置されている。
- 国立大学だけに限れば、9割以上の大学に設置。  
 （「平成29年度学術情報基盤実態調査」による）

10  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2.ラーニングコモンズ

ところで  
 「ラーニングコモンズ」って  
 なんですか？

...アメリカに行ってみた(2015)

11  
国立大学法人 大阪教育大学

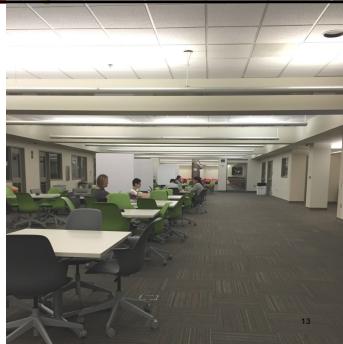
University of Southern California  
 Leavey Library



12

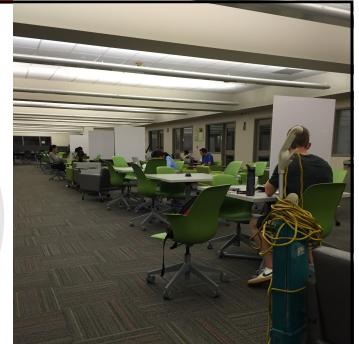
## 2.ラーニングコモンズ

USC Leavey  
Library 2F  
Information  
Commons

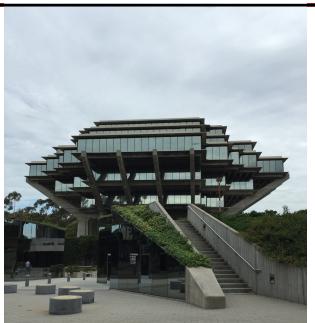


## 2.ラーニングコモンズ

USC Leavey  
Library BF  
Information  
Commons



University of  
California,  
San Diego  
Geisel Library



## 2.ラーニングコモンズ

UCSD Geisel Library  
Learning Commons



16  
国立大学法人 大阪教育大学



17

## 2.ラーニングコモンズ

UCSD Geisel Library  
Collaborative Study Space



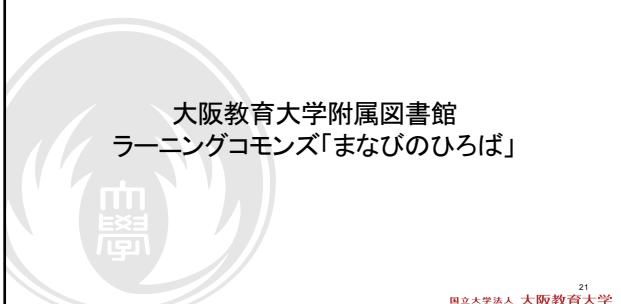
18  
国立大学法人 大阪教育大学



## 2.ラーニングコモンズ

20  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2.ラーニングコモンズ



22

## 2.ラーニングコモンズ

## ラーニングコモンズとは？？

関西学院大学「アカデミックコモンズ」パンフレットより

「学生、教職員、OB・OG、学外の人々と多様な**出会い**を通して新たな世界を開拓し、  
**主体的に学び**、探究と**ディスカッション**を通して価値あることを創造する楽しさを知り、  
それを広く発信して知を共有する輪を広げる、  
このような活動の拠点となる空間です。」

23  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2.ラーニングコモンズ

## ラーニングコモンズとは？？

文科省の定義

「複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた**様々な情報資源**から得られる情報を用いて**議論**を進めていく**学習スタイル**を可能にする「場」を提供するもの。その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の**自学自習**を**支援**する図書館職員によるサービスも提供する。」

「大学図書館の整備について(審議のまとめ)」(H22.12)用語解説

24  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2. ラーニングコモンズ

### ラーニングコモンズとは？？

日本で初めてLCを紹介した文献

[学部教育において]「**学習理論**が『知識の伝達』から『知識の創出・自主的学習』に移行したことを反映した、「**ネット世代の学習支援**を行う図書館施設もしくはサービス機能」。

米澤誠. インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ:大学図書館におけるネット世代の学習支援. カレントアウェアネス. 2006, 289, p. 9-12.

25  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2. ラーニングコモンズ

### つまりラーニングコモンズとは

- ・アクティブラーニングへの転換と
- ・情報入手がインターネット化した時代に対応する
- ・学習支援の場所



26  
国立大学法人 大阪教育大学

## 2. ラーニングコモンズ

### 多くのラーニングコモンズの課題

- ・ラーニングコモンズを構成する要素
  - 情報資源の入手とそのための情報リテラシー教育
  - アクティブラーニング
- ・前者が落ちて、「椅子と机にキャスター(車輪)がついてて動かせる、みんなで集まってしゃべっていい場所」となっている。
- ・情報リテラシー教育という側面が重視されていない。
- ・学習支援は提供されているが、意外に利用されていない。

27  
国立大学法人 大阪教育大学

## 3. アウトリーチ



28  
国立大学法人 大阪教育大学

## 3. アウトリーチ

### アウトリーチ活動とは

語義

「手を差しのべること」

文科省の定義

「図書館サービスの圏域内であるにもかかわらず、これまでの図書館サービスが及ばなかった人々に対して、サービスを広げていく活動」

29  
国立大学法人 大阪教育大学

## 3. アウトリーチ

### アウトリーチ活動とは

近年、アメリカの大学図書館では

「対面でない、あるいは図書館外で提供されるサービスを広く『アウトリーチサービス』と呼ぶことが一般化」

谷口由佳. アメリカの大学図書館におけるアウトリーチサービスの変化とサービス内容に関する調査報告: サブジェクトライブラリアンの能動性について. 大学図書館研究. 2018, 109号, p. 2006-1 - 2006-8.

30  
国立大学法人 大阪教育大学

## 3.アウトーチ

## アウトーチ活動とは(より具体的に)

University of Central Floridaの定義  
「ライブラリアンが[図書館の]建物を出て直に教育・研究の現場でサービスすること」(谷口, 2018)

UCFのある図書館員の職位記述書  
アウトーチ45% レファレンスデスク15% 収書15% ...

31 国立大学法人 大阪教育大学

## 3.アウトーチ

## アウトーチ活動とは(より具体的に)

UCFのアウトーチ活動の例

- 部局の会議への出席
- 学生・教員を対象とした個別相談やワークショップ
- ニュースレターや調べ物ガイドの作成
- 情報リテラシー教育戦略のためのカリキュラム・マッピング
- 教員に機関リポジトリへの寄与を促す などなど

32 国立大学法人 大阪教育大学

## 3.アウトーチ

## 大阪教育大学附属図書館のアウトーチ活動(第一歩)

授業2点

- 「教職入門」(1回生35名対象)  
2回にわたり、図書館オリエンテーションと、「教師の1日」を調べる情報検索実習。
- 「英語科評価論II」(3回生10名対象)  
卒論のテーマ決めに関する情報検索実習。Moodleに図書館員がアクセスできる権限をつけ、学生の提出物を見られるようにした。

いずれも図書館員の「オフィスアワー」を設けた。

33 国立大学法人 大阪教育大学

## 3.アウトーチ

## 当館における今後の課題

- 教員と館員の相互理解。
- 学生は図書館員に質問していると知らない。

34 国立大学法人 大阪教育大学

## 4.まとめ

35 国立大学法人 大阪教育大学

## 4.まとめ

## きょうお話ししたこと

電子化時代、図書館に来なくてもいいというならば...

- 利用者をよびこむ ⇒ ラーニングコモンズ
- こっちから出て行く ⇒ アウトーチ

36 国立大学法人 大阪教育大学

## 4.まとめ

## これからの大学図書館？(概念)

「大学図書館のシステムを図書館固有の業務支援装置として捉える考え方からいよいよ脱却し、学生の学習活動全体を支える連続的なプラットフォームの一部として捉えることが余儀なくされる。」

常川真央、小野永貴. 記憶するラーニング・コモンズ:「電子図書館」と「場所としての図書館」を接合する図書館像の提案. 大学図書館研究. 2018, 109号, p. 1702-1 - 1702-7.

37  
国立大学法人 大阪教育大学

## 4.まとめ

## これからの大学図書館？(具体例)

- 学生の活動について、もっと具体的に知る必要がある
- 図書館のサービスを館内に限定する必要はない
- もっと図書館から出て行った方がいい  
⇒つまり、アウトリーチ活動

(なお今回、研究支援には触れていない)

38  
国立大学法人 大阪教育大学

つづく

39  
国立大学法人 大阪教育大学